



2022年11月10日

各位

会社名：株式会社レスターホールディングス
(コード：3156 東証プライム市場)
代表者名：代表取締役 朝香 友治
問合せ先：常務執行役員 二島 進
(TEL：03 - 3458 - 4623)

2023年3月期通期連結業績予想の修正並びに 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月11日に公表した2023年3月期通期連結業績予想を修正するとともに、期末配当予想の修正（増配）を行うことについて、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年5月11日）	百万円 445,000	百万円 8,500	百万円 7,500	百万円 6,000	円 銭 199.55
今回修正予想（B）	465,000	13,000	12,000	7,000	232.80
増減額（B－A）	20,000	4,500	4,500	1,000	
増減率（％）	4.5%	52.9%	60.0%	16.7%	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	399,590	7,588	6,711	5,957	198.12

(2) 修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、世界情勢における長引くロシア・ウクライナ情勢による資源価格の高騰やインフレによる物価高、日米金利差拡大を受けた急激な円安進行など、依然として不透明な状況にあります。このような環境の中、半導体及び電子部品事業におきまして、産業機器や車載機器向けなど旺盛な需要により増収増益の見通しです。一方で、部品不足に起因したサプライチェーンの混乱により電子機器事業においては出荷影響や施工進捗の遅れから通期業績では減益の見通しとなっております。また、資源価格高騰の影響もあり、新電力事

業における電力調達価格が高止まりしていることから新電力事業において減益を見込んでおります。これらのプラス要因、マイナス要因をそれぞれ勘案し2023年3月期通期連結業績予想を上記の通り修正することと致しました。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（1）剰余金の配当（中間配当）

	決 定 額	直近の配当予想 (2022年5月11日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり 配当金	40円00銭	同左	45円00銭 (普通配当40円00銭) (記念配当5円00銭)
配当金総額	1,202百万円	—	1,353百万円
効力発生日	2022年12月5日	—	2021年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2022年5月11日公表)		50円00銭	90円00銭
今回修正予想		60円00銭	100円00銭
当期実績 (2023年3月期)	40円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	45円00銭 (記念配当5円00銭)	55円00銭 (普通配当45円00銭) (特別配当10円00銭)	100円00銭 (普通配当85円00銭) (特別配当10円00銭) (記念配当5円00銭)

（3）修正の理由

当期の期末配当金予想につきましては、通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回予想から10円の増配を加えた1株当たり60円に修正することといたします。これにより、1株当たりの年間配当予想は前回予想から10円増配の100円となる予定です。

当社は、今期の連結業績予想に基づき財務の安定性を重視しつつも、増配の実施や自己株式取得の検討等、株主各位への還元向上を図ってまいります。

また、将来の成長に向けた積極的な戦略投資や合理化投資とともに、株主還元促進との適正な資本配分を継続的に見直し、一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上に努めてまいります。

※上記の業績予想等につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以 上